

発寒ひかり
保育園だより

2023年
1月号

巻頭言

憧れだったきりん（年長）組になり、運動会やスペシャルデー、そして先日のクリスマスお祝い会を、仲間と共力を合わせて挑戦し乗り越えてきました。

人前で自分を表現することが苦手なKちゃん。運動会のリレーでは、「がんばりたいけど、できない」と悔し涙を流してしまいました。しかし、その後のクラス活動に取り組む中で、「Hちゃんと一緒ならできそう」と友だちの存在を支えに、みんなの前で自分の考えを発言したり、様々なことに挑戦するようになりました。クリスマス会の練習で、弱音を吐かず一生懸命取り組むKちゃんの小さな成功を、一緒に喜び温かく見守っていたのは、きりん組の間たちでした。自分のことを認め、信じて待っている仲間が存在が心の支えとなり、クリスマス会当日のやる気に満ちた姿に繋がったのだと思います。

クリスマス会に向けて、それぞれの頑張りたいことをみんなの前で話していたとき、友だちよりも自分自身で精一杯なことが多いMくんが、「Sくんみたいに頑張りたい」と友だちへの憧れをまっすぐな言葉で表現していました。そこからみんなの話が、友だちの格好良いところや頑張ってほしいことへと広がったのです。彼の一言が、「頑張らなきゃ」と気張っていた仲間の心を和らげ、一丸となって取り組もうとする気持ちを更に深めたのでした。

『相手のことを素直に認められる心』が、友だちとの関係性を深め、心の成長に繋がることを改めて実感しました。残りの三カ月、自分たちで繋げてきた温かな心の輪が更に広がるように、しっかりと寄り添いたいと思います。

とまとファミリー・きりん組担任 徳山 恵理